（第三面）

特定建築行為に関する工事の内容等

【1．柱、壁等の構造方法】

【2．構造耐力上主要な部分の配置】

【3．構造耐力上主要な部分が靱性を持つための方法】

【4．構造耐力上主要な部分の接合部に係る措置】

【5．構造耐力上主要な部分の錆止め若しくは防腐のための措置又は白蟻その他の虫による害を防ぐための措置】

【6．基礎の構造方法】

【7．敷地の整備】

【8．屋根ふき材、内装材料、外装材その他これらに類する建築物の部分若しくは広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付けるもの、屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するもの、給水、排水その他の配管設備又は冷却塔設備の構造耐力上主要な部分若しくは支持構造部との緊結方法又は支持構造部の構造耐力上主要な部分との緊結方法】

【9．エレベーターの構造方法】

【10．その他】

【11．工事着手予定年月日】　　年　　月　　日

【12．工事完了予定年月日】　　年　　月　　日

（注意）

1．各面共通関係

数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2．第一面関係

①　申請者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

②　※印のある欄は記入しないでください。

3．第二面関係

①　住居表示が定まっているときは、2欄に記入してください。

②　8欄は、建築基準法施行規則別紙の表の用途の区分に従い対応する記号を記入した上で、用途をできるだけ具体的に書いてください。

③　9欄は、津波防災地域づくりに関する法律施行令第24条各号に掲げる用途の区分に応じ、当該各号に定める居室をできるだけ具体的に記入してください。また、建築物に当該居室の利用者の避難上有効な他の居室がある場合においては、当該他の居室についても記入してください。

④　10欄は、9欄に記入した居室ごとに、当該居室の床面の高さと当該居室における3欄の基準水位との差を記入してください。

⑤　11欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑥　ここに書き表せない事項で許可の参考となる事項は、12欄又は別紙に記載して添えてください。

別記様式第十五（第五十二条関係）（日本工業規格Ａ４）

建　築　物　状　況　調　書

1．木造の建築物又は木造と木造以外の構造とを併用した建築物の木造の構造部分の状況

【イ．欠込みの有無】

【ロ．筋かいの端部の柱又ははりその他の横架材との緊結の状態】

【ハ．継手又は仕口の緊結の状態】

【ニ．防腐のための措置又は白蟻その他の虫による害を防ぐための措置の内容】

2．屋根ふき材、内装材料、外装材その他これらに類する建築物の部分若しくは広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付けるもの、屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するもの、給水、排水その他の配管設備、冷却塔設備の状況

【イ．屋根ふき材、内装材料、外装材その他これらに類する建築物の部分若しくは広告塔、装飾塔その他建築物の屋外に取り付けるものの緊結の状態】

【ロ．屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものの構造及び緊結の状態】

【ハ．給水、排水その他の配管設備の設置の状況】

【ニ．冷却塔設備の緊結の状態】

3．エレベーターの状況

【イ．綱車又は巻銅への主索の取付方法】

【ロ．レールへのかご又は釣合おもりの取付方法】

【ハ．昇降路内の突出物の状況】

【ニ．原動機、制御器及び巻上機の設置方法】

別記様式第十六（第五十六条第一項関係）（日本工業規格Ａ４）

特　定　建　築　行　為　許　可　証

第　　号

年　　月　　日

殿

都道府県知事
指定都市の長
中核市の長
特例市の長　　印